

講師からのアドバイス

宅建士!

第8回 宮寄講師

『宅建問題集(4択、一問一答、模擬試験)の効果的な活用法!』



要点

- ★メインに使う問題集を繰り返そう! 大事なことは『繰り返すこと』。
- ★テキスト(参考書)と問題集(4択、一問一答、模擬試験)を行ったり来たりしよう!
- ★使用する問題集(4択、一問一答、模擬試験)は、過去問ベースのものを使おう。
- ★模擬試験は、弱点発見、課題発見の道具として使おう!

それでは、宅建問題集(4択、一問一答、模擬試験)の効果的な活用法!についてアドバイスさせていただきます。

★メインに使う問題集を繰り返そう! 大事なことは『繰り返すこと』。

問題集を使うときに失敗しやすいのは、理解をおろそかにすることと、繰り返さないこと。

私自身の体験談

大学受験のとき、あれもこれもと問題集をいっぱい買ってしまった科目(英語)は、どれも中途半端で、成績が伸び悩みました。逆に、同じ問題集を徹底的に繰り返した科目(化学、漢文など)は、全国トップレベルの成績をいつもとることができました。今思えば、当然の結果なのですが、受験生の当時は、なぜそうなるのかよくわからなかったのです。

たくさんの書籍を買っていろいろと読もうとすると、学習できる時間との兼ね合いで、何回も繰り返すことができなくなります。繰り返すことができないから、しっかり理解できていないあいまいな知識がドンドン増えていきます。

コレが良くない。あいまいな知識では、本試験でいい結果を出すことが難しいのです。

試験会場で問題を解くときに迷い、運試しになります。

1冊の問題集で勝負する場合、学習できる時間のほぼすべてで同じ問題集を繰り返すことになりますから、繰り返しの回数が増え、理解が深まり、知識の定着度も高まります。理解度が高いから、応用がきくようになり、応用問題を正解できるようになります。知識の定着度が高いから、本試験で自信をもって判断できることが多くなります。

コレが『合格』の結果につながります。

このことに気が付いてから、いろいろな資格試験を受験する際に、1冊の問題集を繰り返すように心がけるようにしました。1冊の問題集を繰り返すように心がけた、CFP、土地家屋調査士、マンション管理士などいろいろな試験で、すべて合格を勝ちとっています。

★テキスト(参考書)と問題集(4択、一問一答、模擬試験)を行ったり来たりしよう!

テキストを使わず、問題集の繰り返しだけで合格できるのは、それほど難しい試験だけ。

考え方を試す応用問題が多い試験では、テキスト(参考書)での体系的な理解、整理が効果的です。

私自身の体験談

ただ覚えるだけで通用する試験(漢字検定、昔の宅建試験など)の場合、過去問題集一本で勝負する方が合格が早いです。一方、ただ覚えるだけでは通用しない試験(司法試験、今の宅建試験など)の場合、過去問題集1本勝負でいくと、試験センスが良い方でないと合格できません。

本試験会場で初めてみる問題について『基本から考えて解くことが求められる試験』の場合、基本を体系的に理解し、体系的に理解した基本に結びつける形で知識を増やしていかないと、考える力が育たないので、応用問題を確実の得点することができず、合格は難しいのです。

宅建試験の受験対策の場合、まずはテキスト(参考書)で、基本、重要ポイントを理解し、整理することが大切です。

※この段階では、覚えなくても大丈夫です。ざっくりとテキスト(参考書)で基本、重要ポイントを理解し、整理することができたら、問題を解きましょう。

考えながら問題を解くことで、いままであいまいだった『理解』が深まります。テキスト(参考書)で、該当テーマの理解と整理を行いましょう。コレが大切です。

問題集を使って、問題と結論を単に覚えるのではダメです。インターネット、アプリ、ゲーム機などだけで過去問題を利用する方の合格率が低い(と思われる)原因は、ココにあります。

最初の1~2回丁寧に書籍で過去問題の学習を行い、3回目以降の繰り返し学習で、インターネット、アプリ、ゲーム機を利用するのはとてもよいと思います。

★宅建アプリの紹介 ～上手に活用して合格へ！～

日建学院 宅建アプリ 2017年8月時点では、iPhone、iPadでの御利用のみ日建学院-宅建士過去問-2017年度版（猫のイラストです♪） 宮崎制作 宅建アプリ(宅建総研 Fasteps) ※全問題解説『完全無料』のアプリです。

宅建士 絶対合格! 過去問題・一問一答 2017年版（ハムスターのイラストです♪）
『予想問題』、『法改正』、『統計』など、合格に直結する情報も提供させていただきます。

どこが重要ポイントなのかを実際の過去問題を通じて知って、そのテーマの理解を深めるために活用できるようになると、応用がきく、本試験で得点が伸びる真の学力が養われます。

テキスト(参考書)で基本、重要ポイントを理解し、整理する→問題を解く→その問題で問われたことを、テキスト(参考書)で理解し、整理する→また、同じ問題を解く→その問題で問われたことを、テキスト(参考書)で理解し、整理する
この繰り返しで、テキスト(参考書)の理解を深め、知識を整理していけば必ず合格できます。

大切なことは、問題集を解いていてよくわからないことがあるときに、よくわからないままにしまったり、よくわからないことをムリヤリ丸暗記しようとしてはいけないということです。合格しにくくなることはもちろん、仮に合格できたとしても、合格後に役立つクズ知識しか身につけていないこととなります。しっかりと『理解』することとテキストを利用して知識を『整理』することを大切にしましょう。

★使用する問題集(4択、一問一答、模擬試験)は、過去問ベースのものを使おう。
過去問で問われていることは、重要なこと。試験委員の方がこれを学んで宅建取引士になってほしいと思っていることです。

過去問で問われていないことは、法改正など特殊な場合を除いて、ほぼ重要ではありません。ということは、過去問ベースの学習をした方が良く決まっています。メインで使用する問題集・模擬試験は過去問ベースの問題集とし、重要な法改正等に対応しているものを利用しましょう。過去問題集には出てこないような、クズ知識ばかり出題しているオリジナル問題集(有害図書)は使わないようにした方が良いでしょう。なお、過去問題集については、使用時期によって、4択問題集と一問一答を使い分けると良いでしょう。

基本的なことを理解していく段階の学習や、直前期の弱点補強に適しているのは、テキストと同じ順番に学習でき、学習効率・学習効果を高められる『一問一答』です。網羅性が高い一問一答がベストです。
8～10月の学習には、本試験と同じスタイルの4択の問題集が良いでしょう。本試験で力を出し切るため、本試験の感覚を養うには、年度別過去問題集(ある年の50問で1セット)がオススメです。
模擬試験は母集団が大きいものが良いです。データの精度が高く、データの活用価値が高いからです。例えば、日建学院、ユーキャン、住宅新報社、大原共同開催の『ジオープン(9月下旬予定)』がオススメです。
答案練習スタイルの講義では、私も講義を担当させていただき日建学院の直前講座も良いとおもいます。※2017年は宅建業法を担当。

★模擬試験は、弱点発見、課題発見の道具として使おう!
模擬試験は、合格のために利用しますか?それとも、ただゲームのように得点を比べるために利用しますか?
当然、合格のために利用します。得点はどうでもよいのです。

2時間で50問を解くテクニックや感覚を身につけます。問題を解く順番なども模擬試験でいろいろ試し、自分のベストの解く順番を本試験開始前に決めておきます。時間不足等の失敗やマークミスなどの悪い癖を発見して、本試験で同じことを繰り返さないように活かします。間違えた問題(発見した弱点課題)については、正解率の高い問題から優先的に学習をするようにします。このときには、模試の解説を読むだけでなく、愛用のテキスト(参考書)を確認するようにしましょう。

ココでとっても大切なアドバイス! 本試験で力を出し切るために、模擬試験を毎回本試験と位置付けて真剣勝負でのぞむようにしましょう。真剣勝負でのぞまないと発見できない、自分の弱点があるものなのです。
『模擬試験は本試験のように! 本試験は模擬試験のように!』
例えば、試験の何分、何時間前に栄養補給として食事をするか、試験会場に持ち込む道具は何か、なども含めて、本試験同様に模擬試験を受験するようにしましょう。きっと、あなたに合格をもたらしてくれることでしょう。

宅建本試験まであとわずか。本気でのごぞみ、今年必ず合格を勝ちとりましょう。一緒ががんばって、絶対に合格しましょう!

宅建士のことなら日建学院にご相談ください。

宅建士資格のご質問、願書取り寄せ代行、無料セミナー、受験対策など宅建士のご相談を受け付けています。何でもお気軽にご相談ください。

日建学院 土浦校

〒300-0061 土浦市並木 1-13-6 雅ビル 2F
TEL. 029-893-2737 FAX. 029-879-9596
ご希望の内容を選択、または、その他にご記入の上、ご連絡をお知らせください。
 宅建士試験について知りたい その他
 無料の受験対策を受けたい _____
 講座を検討している _____
 模擬試験を受験したい _____

ふりがな お名前	
ご住所	
TEL	
勤務先 学校名	